

平成28年度 事業報告

I. 理事会・評議員会の開催状況

平成28年度 定時評議員会

日時：平成28年5月25日（水） 午後1時30分～午後2時15分

場所：札幌アспенホテル 2階「アカシア」

議題：1) 決議事項

第1号議案 理事・監事の辞任と後任理事・監事の選任（案）

出席者：出席評議員 5名（現在数8名）

居林 次雄、川崎 一彦、近藤 征夫、内野 貢、山田 明、各評議員
その他出席者

理事 村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事

事務局 事務局次長 稲垣勝一

平成28年度 第1回理事会

日時：平成28年5月25日（水） 午後2時30分～午後4時30分

場所：札幌アспенホテル 2階「アカシア」

議題：第1号議案 平成27年度事業報告（案）

第2号議案 平成27年度収支決算報告（案）

第3号議案 平成28年度事業計画（案）

第4号議案 平成28年度収支予算（案）

第5号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）

出席者：「理事」 8名（現在数9名）

村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事、藤田恒郎、土居博昭

永井勝巳、越前雅裕、坂本和彦、浅香正博、各理事 8名

「監事」安田光春

「顧問」マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使

宮司正毅当別町町長

その他出席者

「評議員」 居林 次雄、川崎 一彦各評議員

「オブ」 清水茂男氏（北海道総合政策部国際局 国際課 国際交流室長）が

高橋はるみ顧問（北海道知事）の代理としてワグザバー出席

事務局 事務局次長 稲垣勝一

みなし決議に関する平成28年度定時評議員会

日 時 : 平成28年6月20日

内 容 : 定款第22条に基づき、定時評議員会の目的である下記の議案について、評議員に書面による同意を求めたところ、評議員全員の同意を得たので、議案については、評議員会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 8名 同意数 8名

1.平成28年度定時評議員会の決議のあったものとみなされた事項の内容

報告事項1.平成27年度事業報告の件

決議事項1.平成27年度収支決算(案)

1) 貸借対照表(案)の承認の件

2) 正味財産増減計算書(案)の承認の件

平成28年度 第2回理事会

日 時 : 平成28年11月10日(木) 10:30~12:00

場 所 : 北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議 題 : 1) 第1号議案 平成28年度上期 事業報告

2) 第2号議案 平成28年度上期 収支報告

3) 第3号議案 その他

(ア) 資産運用について

出席者 : 出席理事 9名(現在数9名)

村松 宏一、杉野 秀雄、杉本 拓、土居 博昭、
藤田 恒郎、永井 勝己、越前 雅裕、坂本 和彦、
浅香 正博、

出席監事 1名(現在数 1名)

安田 光春

事務局

事務局次長 稲垣 勝一、(1名)

II. 事業状況

1. 交流事業(継続事業1)

1) セミナー・講演会

(1) 講演会「Sweden – a multicultural society? スウェーデン ～多文化社会?」

マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使をお招きして、スウェーデンの最新の話題についてご講演いただいた。日瑞の共通点、移民・難民や民族の問題、女性の活躍と男女平等についてなど、近年注目を集めているホットな話題を中心にお話し戴いた。

また、2018年の「日瑞国交樹立150年」についても触れ、スウェーデン大使館の取り組みについてなど言及があった。

参加者からの質疑にもお応えいただき、会場からは熱心な質問が出、日瑞文化交流について考えるいい機会となった。

日 時 : 平成28年5月25日(水) 18:00~18:45
場 所 : 札幌アスペンホテル 2階「アスペンA」
講 師 : マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使
(英日通訳: 斎藤彩子氏)
参加者 : 65名
参加費 : 無料

(2) ワークショップ

「2018年は日本とスウェーデンの国交樹立150年 ~今自分に出来ることは？」

2013年から開催しているシリーズの第4回として、「日瑞国交樹立150年」の記念すべき年を見据えてのワークショップを開催した。

「質問づくり」の手法を用いて、「いま自分に出来ることは何か」をテーマに日瑞交流のアイデアを考え、意見を交換し合う機会を提供した。

マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使にも、参加者と同じテーブルで意見交換にご参加いただいたほか、終わりにご自身の意見と会に対するご感想をいただいた。初対面の参加者同士が真剣に、時に笑いも交えながら話し合う様子が見られ、日瑞交流を考える実りあるワークショップとなった。

日 時 : 平成28年5月25日(水) 18:45~20:30
場 所 : 札幌アスペンホテル 2階「アスペンA」
ゲスト : マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使
進行役 : 川崎 一彦 東海大学名誉教授
参加者 : 45名
参加費 : 無料

2) 催 事・イベント

(1) 第33回夏至祭

当別・レクサンド都市交流協会、当別町と共催し、スウェーデン伝統の「夏至祭」を実施した。

スウェーデン交流センターでは、センターホールでの展示会「スウェーデンの地域紹介シリーズ⑤ヨーテボリ」のほか、「吹きガラス制作体験」「木工制作体験」「ガラスマーケット」などの協賛企画を実施し、好評をいただいた。(各項参照)

日 時 : 平成28年6月19日(日) 10:00~15:00
場 所 : スウェーデン交流センター中庭・スウェーデン公園・レクサンド記念公園
参加者 : 4,000名(主催者発表)

(2) ザリガニパーティ

スウェーデンの夏の風物詩である、茹でザリガニを食べる会を今年も実施した。

日 時 : 平成28年8月21日(日) 12:00~14:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 37名(うち未就学児2名)
参加費 : 1,000円

(3) スールストロミング試食会

世界一くさい食品とされる、スウェーデンの珍味の試食会を実施した。

*「北海道新聞」と「どうしん電子版」の取材を受けた。

日 時 : 平成28年9月22日(木・祝) 12:00~14:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 23名
参加費 : 1,000円

(4) スウェーデンの食文化紹介シリーズ「Svenska Köket! スヴェンスカ・シェーケット」

「カフェで味わうスウェーデン」①

「食」をテーマに、スウェーデンの文化を紹介する新シリーズ。

初回は、スウェーデンの文化のひとつとして欠かせない「カフェ」にまつわる文化について紹介した。講師には、ストックホルム郊外の人気カフェのオーナーシェフを招聘し、カフェの定番であるオープンサンドや本式のおもてなしに登場するメニューなどの料理講習会のほか、カフェやお茶の歴史などを紹介するセミナー、スウェーデン風のテーブルデコレーションなども紹介する写真展も開催し、好評を得た。

なお本件は、一般財団法人自治総合センターが実施する「平成28年コミュニティ助成事業」の助成を受けて実施した。

①料理講習会1「レークマッカ(エビのオープンサンド)」

スウェーデンのカフェランチの定番である「エビのオープンサンド」と「ミートボールのオープンサンド」の作り方を学び、試食する講習会を開催した。

日 時 : 平成28年8月5日(金) 14:00~16:30
場 所 : 札幌市男女共同参画センター 調理実習室
講 師 : ヴィクトリア・リクセール氏

(カフェ「トールペット」オーナーシェフ)

アシスタント: ヨエル・モルテン・セーゲルシュテット氏

参加者 : 13名
参加費 : 1,000円

②料理講習会2「シュー・ソーテルス・カーコル(7種のクッキー)」

スウェーデンのお茶会における伝統的なおもてなし「7種のクッキー」について作り方を学び、試食する講習会を実施した。

日 時 : 平成28年8月6日(土) 14:00~16:30

場 所 : 札幌市男女共同参画センター 調理実習室

講 師 : ヴィクトリア・リクセール氏

(カフェ「トールペット」オーナーシェフ)

アシスタント: ヨエル・モルテン・セーゲルシュテット氏

参加者 : 11名

参加費 : 1,000円

③セミナー「スウェーデンのカフェ文化」

スウェーデンの話題として取り上げられることの多い「フィーカ」や、「シナモンロール」に代表されるスウェーデンのカフェスイーツについて等、「カフェ文化」を中心に上げるセミナーを開催した。カフェやフィーカの歴史、伝統的なお茶の時間「カフェレップ」について紹介し、講師の製作によるシナモンロール、7種のクッキーを試食として提供したほか、参加者同士で日瑞のお茶の文化の違いなどについて話し合い、講師を交えて意見交換する機会も設けた。

日 時 : 平成28年8月7日(日) 14:00~15:30

場 所 : スウェーデン交流センター 2F会議室

講 師 : ヴィクトリア・リクセール氏

(カフェ「トールペット」オーナーシェフ)

アシスタント: ヨエル・モルテン・セーゲルシュテット氏

(瑞日通訳: エラノア・セザー (SCF職員))

参加者 : 21名

参加費 : 無料

④写真展「Svenska Köket! スウェーデンのカフェ文化」

オープンサンド各種スイーツの美しい盛り付けや、スウェーデンらしいカフェのインテリアなど、スウェーデンの食文化とカフェの魅力を写真で紹介した。

日 時 : 平成28年7月27日(水)~8月28日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター 2F会議室

来場者 : 624名

(5) SCFクリスマス・フェア

スウェーデンのクリスマス文化を紹介する一連の企画をクリスマス・フェアとして実施した。

① クリスマスマーケット

期 間 : 平成28年11月19日(土)~12月25日(金)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

クリスマス用の飾り・キャンドルや小物等を特設のコーナーを設けて展示販売を行った。期間限定で「北欧が好き!」の著者でイラストレーターのナシエ氏がデザインしたグッズの販売を行った。

- ② クリスマスクラフト講習会 －「星形ランプ制作講習会」
スウェーデンのクリスマスで伝統的に飾られる星形のランプの講習会を行った。
日 時 : 平成28年11月27日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房
参加者 : 7名
参加費 : 6,000円
- ③ 芸術の秋を彩るワークショップ
SCF クリスマスフェアの協賛イベントとして、webkoko 主宰の下村好子さん主催
で、カード織りで編む手作りネックレスのワークショ
ップを開催した。
日 時 : 平成28年11月30日(水) 10:00~14:00
場 所 : スウェーデン交流センター 2F 会議室
参加者 : 2名
参加費 : 4,000円
- ④ 吹きガラス制作講習会
雪模様のコップ型キャンドルホルダーを吹きガラスで制作する講習会を行った。
日 時 : 平成28年12月3日(土)
場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房
参加者 : 3名
参加費 : 2,000円
- ⑤ 特別企画「スウェーデンのクリスマスクラフトを作ろう！」
当別町学校支援地域本部「キッズ・インターナショナル」の企画による色紙で立体的なオ
ーナメント「パッペルシャーナ」を作成するワークショップを実施した。
日 時 : 平成28年12月11日(日) 13:00~15:30
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
参加者 : 20名
参加費 : 無料
- ⑥ ペッパルカーカ(ジンジャークッキー)アイシング体験
スウェーデンにおいてはクリスマスには欠かせないお菓子、ジンジャークッキーに色付き
砂糖でカラフルに飾り付けをして楽しむワークショップを実施した。
日 時 : 平成28年12月11日(日) 13:00~15:30
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
参加者 : 26名
参加費 : 100円
- ⑦ ルシア祭
スウェーデンで12月13日に行われる伝統的な冬のお祝いを再現した。
ルシア姫には、SCF 職員であるエアノア・セザー、お付き役として地元の子どもたち17
名の協力を得て、センター2Fからセンターホールを行進した後、サンタルシアなどスウェ

ーデン語の歌を披露した。今年は本場スウェーデンの方たちが4～5名程度来場した。その中のひとは急遽ロシア隊にも参加して楽しんでた。最後にロシア隊の行進に参加した子供たちの中から抽選で1名にジンジャークッキーで作った「クッキーハウス」をプレゼント

日 時 : 平成28年12月11日(日) 16:00～17:00

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

参加者 : 80名

参加費 : 無料

⑧ クリスマス飾りのワークショップ

SCF職員であるエラノア・セザーを講師としてスウェーデン必須のクリスマス飾り「ユールピッセル」を作るワークショップを開催した。

日 時 : 平成28年12月18日(日) 14:00～15:30

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

参加者 : 7名

参加費 : 200円

3) 展示会

(1) 「SCF ダーラHESTコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラHEST」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。(昨年度より引き続き)

日 時 : 平成28年3月5日(土)～5月29日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

入場者 : 1,039名

(2) 「ポスク」展

キリスト教の文化が生活に根付いているスウェーデンでの「ポスク(イースター)」の祝い方や、ポスクで飾る装飾品、ポスクが登場する文学等を紹介した。

日 時 : 平成28年3月23日(水)～4月10日(日) ※昨年度末より展示

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

入場者 : 201名

(3) 地域紹介シリーズ5 「ヨーテボリ」展

スウェーデン第2の都市で、美しい港町として観光の人気の高いヨーテボリと、その周辺地域の見どころを写真、動画、観光ガイドブックなどで紹介した。

日 時 : 平成28年6月4日(土)～9月25日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

入場者 : 5,959名

※写真、動画、ガイドブックなどの資料に関しては、ヨーテボリの観光協会や博物館などに協力頂いた。

(4) 「マイ・ストーリー・アバウト・スウェーデン」展

実際にスウェーデンを訪れた際の体験談をフェイスブック・ウェブサイトで募り、センターホールにて写真をパネルにて紹介した。

日 時 : 平成28年10月1日(土)～11月13日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

応募者 : 8名

入場者 : 510名

4) 人的交流支援

(1) レクサンド高校木工科生徒の職業研修に関連した同校教師の視察サポート

毎年秋に、スウェーデン交流センターを含む北海道内の3か所で受け入れを行っている高校生の職業研修に関連して、同校の校長および木工科の担当教員の2名が来日して視察を行った。スウェーデン交流センターでは、北海道内に滞在中の視察プログラムの調整や宿泊・アクティビティー等の手配、訪問時の通訳協力等を行った。

視察の結果、来年度以降の新しい研修先が決まるなど、今後のプログラムに良い影響を与える訪問になったと報告があった。

日 時 : 平成28年5月19日～5月20日(当別町内滞在日)

(2) スウェーデン人ジャーナリストによるスウェーデンヒルズ取材への協力

「ヨーテボリ・ポステン」紙の記者の取材要請に応え、スウェーデンヒルズの生い立ちや現在の状況、今後についての取材や、住民へのインタビュー、写真撮影等について、スウェーデンハウス株式会社やヒルズのオーナーの家庭の取材先等について手配・調整を行った。取材当日は通訳等の協力も行った。

完成した記事は「ヨーテボリ・ポステン」紙(スウェーデン・2016年6月22日付)に掲載され、記事を見たという人の実際の来館や、問い合わせがあるなど、国内外からの反応があった。

日 時 : 平成28年6月5日～6月6日(取材日)

(3) レクサンド高校生のインターンシップ受け入れ

レクサンド高校・木工科に在籍する生徒が職業実習のために来日した際のサポートを行った。帯広市、音威子府村、当別町のプログラムの中で、当別町分について受入し、実施した。SCF外部の工房見学の際は、職員が同行し、通訳を務めた。

レクサンド高校生 ヘルストレイリア(17才・女性)

リヴァー・グラナット(18才・男性)

日 程 : 平成28年10月5日(水)～10月9日(日)

(北海道内滞在 10月4日～10月29日)

場 所 : ①スウェーデン交流センター 木材工芸工房(島田晶夫氏)

②札幌市内 木工房 「手づくり工房クォート」(木村由美子氏)

③当別町内 大成寺 ー日本文化施設見学(武田龍太郎住職)

④当別町内 木工房 「原田ギター工房」(原田孝典氏)

⑤当別町内 木工房 「樹喜舎」(小林氏)

(4) レクサンド高校・当別高校相互派遣交流に関する事前研修

当別町主催の「高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業」に参加する当別高校の生徒、町内在住の他校の生徒のための事前研修F I K A等を利用して行った。

「F I K A」での事前研修は8月28日、9月25日、10月30日、11月27日次の二回については、レクサンドでのプレゼンテーションのための練習を行った。

● 第1回

日 程 : 平成28年10月30日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター 応接室

参加者 : 高校生7名、当別町役場担当者1名

● 第2回

日 程 : 平成28年11月20日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター 応接室

参加者 : 高校生8名、当別町役場担当者1名

※レクサンド高校でのプレゼンテーションのため、自分の家族や当別町・当別高校の紹介をする練習を英語で行った。当日はSCF職員エラノア・セザーと「アーティスト・イン・レジデンス」で滞在していたエルズビエータ・ラーステン氏が彼らのアドバイスをを行った。

5) 講習会、体験教室等

(1) F I K A (フィーカ) ～スウェーデン風 Tea Time～

スウェーデンに関する話題を、スウェーデンのお茶の時間「フィーカ」のリラックスした雰囲気でおしゃべりの場を提供した。

毎月最終日曜日を定例日として、事前にテーマを定めず、予約不要の自由な参加を主としているが、北海道当別高校主催「高校生の当別町・スウェーデン王国レクサンド市 相互派遣海外研修実施要領」および当別町主催「平成28年度高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業」へ参加する高校生たちへの「事前研修」として採用され、「学習」の側面も持った内容となっている。

日 程 : ①平成28年8月28日(日) 14:00～15:30 11名参加

②平成28年9月25日(日) 14:00～15:30 8名参加

*スウェーデン体操について、エラノアに取材に来ていた北海道テレビの記者が、フィーカに参加した。

③平成28年10月30日(日) 14:00～15:30 15名参加

④平成28年11月27日(日) 14:00～15:30 3名参加

⑤平成29年 1月29日(日) 14:00～15:30 6名参加

⑥平成29年 2月26日(日) 14:00～15:30 2名参加

⑦平成29年 3月26日(日) 14:00～15:30 中止

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

(2) スウェーデン語会話講座

今年度は、10月1日より新規講座開講を下記により準備していたが、締切日までに応募者が2名しか集まらなかったため、秋季講座は残念ながら中止とした。

(内容) 初心者を主な対象とし、挨拶や自己紹介等、日常会話でよく使う表現を学ぶ。

スウェーデンの文化や習慣なども織り交ぜて紹介する内容となっている。

日 時 : 10月1日～11月26日 13:30～15:00 (各回90分)

①10/1 ②10/8 ③10/22 ④10/29 ⑤11/5 ⑥11/19 ⑦11/26

(各回とも土曜日 全7回) ※会場都合により 10/15 と 11/12 は休み

会 場 : 札幌市男女共同参画センター 4F 研修室 (札幌市北区)

講 師 : エラノア・セザー (SCF職員)

参加費 : 13,000円 (教材費込)

参加者 : 10名予定

6) アーティスト・イン・レジデンス

一昨年から実施している、スウェーデンから工芸の分野で活躍するアーティストを招聘し、滞在しながら創作活動を行い、セミナーやワークショップ、作品の展示会等を実施した。

(1) 招聘作家について

①招聘作家名 : エルズビエータ・ラーステン氏 (ストックホルム在住)

1968年 ポーランド生まれ (47歳)

ガラス工芸の盛んなスウェーデン・スモーランド地方コスタにて吹きガラスの技術を学び、現在はウプサラの工房で制作を続けている。2014年に自身を含むアーティストの作品を紹介するブランド「Adartis」を立ち上げ、展示会活動も精力的に行っている。

②滞在期間 : 平成28年10月19日～11月24日 (1ヶ月強)

吹きガラスによる作品「ハッピー・アップル」の制作、スウェーデンのアートについてのSCF内外でのセミナー、ワークショップ、作品展示会を行った。SCF外での活動については職員が同行し、通訳を務めた。

(2) 活動内容

① セミナー : グラスアートセミナー「I have a dream」

スウェーデンの文化について、作家自身の夢や作品、作家を志した経緯などをこれまでの体験を交えて語って頂いた。当日は制作した作家の作品を数点展示した。

● 第1回 スウェーデン交流センター

日 時 : 平成28年10月29日 (土)

場 所 : スウェーデン交流センター 2F 会議室

参加者 : 10名

参加費 : 無料

● 第2回 東海大学

日 時 : 平成28年11月11日 (金)

場 所 : 東海大学札幌キャンパス

参加者 : 19名

参加費 : 無料

※東海大学では作家の講演後、学生を小グループに分け、作品に触れてもらった。そこで、彼らが常に心掛けていることや、大切にしていきたい思いを世界に向けたメッセージとして作品に言葉を書いてもらった。

● 第3回 北海道当別高等学校

日 時 : 平成28年11月16日 (水)

場 所 : 北海道当別高等学校

参加者 : 10名

参加費 : 無料

※時間の都合で東海大学での所要時間の約半分になったが、大学とほぼ同内容のセミナーを行った。

● 第4回 北海道教育大学

日 時 : 平成28年11月18日 (金)

場 所 : 北海道教育大学岩見沢校

参加者 : 20名

参加費 : 無料

※美術専攻の学生に講演を行った。講演後は持参した作家の作品から受ける印象から想像力を膨らませて絵を描いてもらった。

② ワークショップ 「秋のわくわくワークショップ」

日 時 : 平成28年11月13日 (日)

場 所 : スウェーデン交流センター 2F 会議室

参加者 : 10名

参加費 : 1,000円

※作家の作品を参考に、新聞紙と紙粘土で自分だけのとっておきの「ハッピー・アップル」を作成するワークショップを行った。

③ 展示会 「エルズビエータ・ラーステン作品展」

日 時 : 平成28年11月19日 (土) ~ 11月26日 (月)

場 所 : スウェーデン交流センター 2F 会議室

入場料 : 無料

※作家自身が来日時に持参した作品と当センターガラス工芸工房で製作した作品44点の展示販売を行った。

④ 展示会オープニング企画 「エルズビエータ・ラーステン・トークショー」

日時：平成28年11月20日（日）

場所：スウェーデン交流センター 2F 会議室

入場者：29名

入場料：無料

※当センターガラス工芸工房での創作活動の集大成として、作品やスウェーデン文化について語った。入場者は実際に作家と直に触れ合い歓談する機会があった。最後に来場者の中から抽選で1名に作家の作品をプレゼントした。

7) その他（後援・協賛事業）

他団体からの要請により、イベントへの協力を行った。

(1) 「サッポロ・シティ・ジャズ2016」＜後援＞

日時：平成28年5月16日（土）

会場：札幌市内各所

主催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

内容：2007年から毎年開催されているジャズの国内最大級のジャズフェスティバル「サッポロ・シティ・ジャズ」イベントの一つ「北海道グループキャンプ」に国内外でジャズを学ぶ若者が集まり、バークリー音楽大学の教授陣によるジャズセミナーを受け、演奏活動を行います
今年はスウェーデンの若者も参加していることから、本事業を後援した。（海外からはノルウェー、スウェーデン、ポルトガルが参加）スウェーデンから参加したグループは、スウェーデンの北部にあるエーンヘルツビークという町の高校生6名です。（ビョルク132号参照）

(2) 平成28年度第1回北方圏講座＜後援＞

平成28年度第一回北方圏講座として開催した、北海道スウェーデン協会、（公社）北海道国際交流・協力総合センター主催の新春講演会及びミニコンサートを後援した。

講演会

日時：平成29年1月27日（金）

場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌13階「プラターホール」

講師：目黒聖直氏（国土交通省北海道開発局入札監察官）

*1988年～1990年在スウェーデン日本大使館一等書記官

参加者：60名

内容：「スウェーデンに学ぶ北海道の中小地方都市市街地の再生」

ミニコンサート

日時：平成29年1月27日（金）

場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌13階「プラターホール」

演奏者：スプルケット・クルース（野間美紀、野間友貴氏）

曲目：スウェーデン伝承歌+スウェーデンの音楽事情のお話

(3) 地元行事に対する協賛・支援事業

第35回とうべつ“あそ雪の広場”に協賛

期 間 : 平成29年2月11日(土)～2月12日(日)

会 場 : 当別町阿蘇公園

入場者 : 約7,500人

8) 「スウェーデン交流センター設立35周年企画」の計画推進

2018年は当財団が設立して35周年を迎えます。また、この年は日瑞国交樹立150周年の年でもあります。

当財団は設立35周年の記念イベント、また、日瑞国交樹立150周年記念の協賛イベントとして、招聘したインストラクターと研修生による「ガラス、木工作品の合同展示会」を企画しており、この企画推進のため、スウェーデンの招聘作家との打合せのため、稲垣事務局次長とスタッフのエラノア・セザーをスウェーデンに派遣した。

期 間 : 平成29年3月8日～19日

派 遣 者 : 稲垣事務局次長、エラノア・セザー

*インストラクターとのミーティング

日 時 : 平成29年3月11日

場 所 : ストックホルムレストラン「グラッパ」

参 加 者 : ガラス工房インストラクター 12名、木工房インストラクター4名

AiRの作家 3名、その他 3名(家族等)、SCFスタッフ2名、計24名

内 容 : SCF設立35周年記念の展示会についての意見交換

参加者は、この度の企画について積極的で、ほとんどのインストラクターが参加したいとの意向であった。

展示作品や正式な参加について、4月15日までにSCFに連絡する旨確認して、成功裏にミーティングを終了した。

2. 広報事業(継続事業2)

スウェーデン交流センターで行う様々な催し・イベントの情報や、スウェーデンの文化・社会の紹介等を広報誌「ビョルク」やパンフレット、ホームページ、フェイスブックで行った。

1) 広報誌「ビョルク」の発行

「ビョルク」130号 平成28年4月 1日発行 2,500部

「ビョルク」131号 7月10日発行 2,500部

「ビョルク」132号 10月 1日発行 2,500部

「ビョルク」133号 平成29年1月 1日発行 2,500部

2) スウェーデン交流センターのホームページ・フェイスブックの随時更新

- ① フェイスブックを利用しタイムリーな情報の掲載・イベントの告知・報告を行った。
- ② ホームページを整備し、イベント情報・活動報告等を随時公開した。

3) マスメディア・取材対応

(1) 雑誌・地域新聞等

①海外の新聞

a. スウェーデン「ヨーテボリ・ポステン紙」2016年6月22日付

スウェーデンヒルズ特集（※交流事業参照）

*ヨーテボリ新聞の記事がフィンランド新聞にも転載されて報道された。

b. スウェーデン「スモーランド・ポステン紙」2017年3月17日付

財団設立35周年記念工房展について、スモーランド・ポステン紙の取材を受け、取材記事が掲載された。

②JAL 機内誌「JAL SKYWARD」(スカイワード) 2016年9月号

「この町の名情景」当別町特集

③情報誌「O.t o n e」(オトン) 2016年9月15日号 札幌近郊ドライブスポット特集

④地域情報誌「北海道じゃらん別冊」2016年9月28日号「お出かけネタ帳！」特集

「じゃらんで旅する北海道 2017～2018」2017年3月8日発行

さっぽろ隣町観光カタログにて紹介

「北海道じゃらん」2017年3月号（3月20日発行）

当別町お楽しみ立ち寄り MAP にて掲載

⑤地域新聞「ふりっぱー」

*北東版2016年10月号（10月1日発行）

さっぽろ圏逸品発掘にて当センター紹介

*北東版2016年11月号（11月1日発行）

アーティスト・イン・レジデンス紹介記事掲載

*北東版・白厚版2016年12月号（12月1日発行）

クリスマスフェア紹介記事掲載

(2) テレビ取材

*テレビ東京情報番組「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ」（12月9日放送）

スウェーデンヒルズ紹介企画にて当センター木工房紹介

*HTB 北海道テレビ 情報番組「イチオシ」（12月15日放送）

スウェーデン体操紹介企画にてセンター職員エラノア出演

4) 資料の整備

図書コーナーを整備し、来館者への貸出や閲覧スペースの提供を行った。

*新刊購入 「やさしさという技術」「おやすみ、ロジャー魔法のぐっすり絵本」

「コーヒーとパン隙のための北欧ガイド改訂版」「カイトとカイサのぼうけん」

「スウェーデン小学校社会科の教科書を読む」

2. 工房事業（継続事業3）

工房では、工房スタッフの創作活動、販売商品の制作のほか、次のことを実施した。

1) アーティスト・イン・レジデンス

アーティスト・イン・レジデンスに招聘したエルズビェータ・ラーステン氏の創作活動をガラス工房で行い、工房のスタッフが全面的にサポートした。

エルズビェータ氏のテーマである「ハッピー・アップル」を彼女のイメージに基づき、吹きガラスによる制作をアシストした。

滞在期間：平成28年10月19日～11月24日、

2) 制作体験教室

(1) 吹きガラス制作体験教室

宙吹きによるオリジナルのガラス作品制作体験。

日 時：毎月第2・4土曜日（原則／予約制）

場 所：スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

講 師：SCFガラス工芸工房スタッフ

参加費：2,000円（送料は参加者負担にて別途）

参加者：11名

(2) 木工教室

家具や小物などの制作講習会。テーマは受講者と個別に相談して決定する。

日 時：毎月第2・4日曜日（原則／予約制）

場 所：スウェーデン交流センター 木材工芸工房

講 師：島田晶夫氏（デザインスタジオシマダ／スウェーデン木工マイスター）

参加者：28名

2) ガラス作品展

ガラス工芸工房の職員による外部での作品展を実施した。

①「スウェーデン交流センター 甲斐裕士 ガラス作品展」

期 間：平成28年6月4日（土）～6月27日（月）

会 場：「ギャラリー安政」（福岡県うきは市）

出展作家：甲斐裕士、田澤綾乃（SCF職員）

入場料：無料

②「甲斐裕士 ガラス作品展2016」

期 間：平成28年7月4日（月）～7月16日（土）

会 場：「手風琴」（札幌市北区あいの里）

出展作家：甲斐裕士、田澤綾乃（SCF職員）

入場料：無料

4. 販売事業

1) ガラス工房、木工房の作品の販売

当工房で制作されたガラス作品、木工作品の展示販売を行った。2014年度より当別町の「ふるさと納税」の記念品のひとつに取り上げられているガラス作品を、今年度は年間120個（昨年比14増）で予算を組んだが、今期は45個と予算に対して大幅未達であった。

また、関係先の売上げについても、予算を大幅に下回り、一般売上はほぼ予算通りであったが、予算は達成できなかった。

2) 輸入雑貨の販売

スウェーデンの民芸品であるダーラヘスト、その他スウェーデン雑貨の輸入販売を行った。

雑貨についても、関係先の売上が大幅未達となり、一般販売も若干未達となったため、予算を達成できなかった。

平成28年度 販売実績

内 容	前年実績	今期予算	実 績	予算対比
ガラス作品収入				
関連売上	8,420,913	9,356,000	7,651,370	-1,704,630
一般売上	919,342	1,290,000	1,270,342	-19,658
センター売上計	9,340,255	10,646,000	8,921,712	-1,724,288
委託売上	653,334	647,000	756,575	109,575
ガラス作品収入 計	9,993,589	11,293,000	9,678,287	-1,614,713
ガラス作品 工房分（継続事業）	7,495,192	8,470,000	7,258,715	-1,211,285
販売事業分	2,498,397	2,823,000	2,419,572	-403,428
雑貨・その他収入				
関連売上	10,498,100	8,887,000	7,429,156	-1,457,844
一般売上	1,744,146	1,747,000	1,543,571	-203,429
雑貨・その他収入 計	12,242,246	10,634,000	8,972,727	-1,661,273
販売事業売上合計	14,740,643	13,457,000	11,392,299	-2,064,701

以 上